

長山会大
アピー

「郡山りよう」を国会に送り、
政策制度の取組み強化を

参議院選挙でJAMが擁立している「郡山りよう」候補予定者は、全国の「モノづくり」の現場を駆け巡っており、シニアクラブの会員の皆さんと会う機会もあり、会員の皆さんの声を国政に反映していく決意を新たにしています。「郡山りよう」候補を押し上げるために更なるお力添えをお願いします。

自民党と公明党は消費税減税に背を向けています。高物価に無策の政治が続けば、生活の底が割れる生活者はさらに増え続け、消費不況へと拍車がかかります。数年間も上昇を続ける高物価に対しては無策ではなく、臨機応変に消費税減税に踏み出すべきです。また、年金はマクロ経済スライドによって物価上昇を下回り続け、「生活できない年金」になっていることが明らかになっています。マクロ経済スライドを早急に終了させ、年金生活者の生活を安定させることを強く求めます。

看護師 介護士など医療、介護の労働者の処遇が世間一般と比べ低く働く人が不足し、また診療報酬や介護報酬が十分でないため病院、訪問介護事業所は存続の危機が叫ばれています。自公政権は、この事態の下で、子ども・子育てを支援する財源のためとして医療、介護の社会保障費を削減し1兆1千億円程度を確保する政策を遂行しています。自公に維新が加わり国民医療費の4兆円削減で協賛体を設置しています。子ども・子育ての財源は社会保障の削減や医療保険の上乗せでありきではなく、別途財源を確保すべきです。

要です。不公平税制を是正した所得税・法人税と消費税の基幹三税を軸とする適切な税負担で確保すべきです。経済状況、国民生活、企業状況などを勘案した基幹三税のバランスがとれた税収を図るべきです。

シニアクラブは、「郡山りよう」候補の国政における活躍と連携して、シニアクラブの政策・制度要求実現の取組みを強化していきます。会員の皆さんの仲間「郡山りよう」候補を国会に送り出しましょう。

第2回幹事会を開催

参議院選取組み
推進などを議論

5月21日、新潟県燕市の燕三条ワシントンホテルにて、第2回幹事会を開催。

26年度活動方針、参議院選取組み推進を中心に議論しました。

幹事会の前段、昨年取りまとめた「政策課題ワーキンググループ」の報告書をもとに学習会を開催しました。「少子化問題の現状と今後の課題」を那珂副会長から、「高齢者医療制度について」を大山委員(神奈川シニア副会長)より説明を受けました。

幹事会は冒頭、大山会長から挨拶を受け、JAM川野副書記長からは、春闘や価格転嫁の問題を中心に報告を受けました。

協議事項では①2026年度活動方針素案②参議院議員選挙の取組み推進③役員選挙委員会中間報告④政策制度学習会補助金制度改定⑤核兵器

へ裏面に続く

主張



当OB会は、今年4月に第27回定期総会を迎えました。結成総会時の会員数は43名でスタートし、一番多い年には76名でしたが、私達団塊世代

今年、私も75歳になり、後期高齢者の仲間入りをしました。60歳で定年を迎え、「川之江造機OB会」に入会して、70歳で52年間務めた会社を退職、その後は妻と一緒にスポーツジム通いが日常の仕事となっております。

昨年、当OB会の前会長が健康上の理由から退任となり、後任として私に白羽の矢が飛んできました。私は今まで何もしていない当OB会の一幹事でしたので、当然ご丁寧にお断りしました。「次はおまえだろわい」。おまえがわしの後を継いでくれんといかんからわい」。常日頃から人生の師としてリスペクトしていますこの方からそう言われ、気がついた時には「はい、わかりました」の一言で引き受けておりました。

後期高齢者になり「初めての」用事

愛媛シニアクラブ副代表幹事 加地明男

は年に一度、組合会議室を借りてでも開催しよう等々を色々と話し合っております。

この一年間で私が一番頭を痛めたのが選挙の関係です。私は今まで選挙活動はほとんどしていなくて、前会長におんぶに抱っこでしたので、その付けがいつぱんにやってきて何をどうすれば良いのか手立てがさっぱりわかりません。この一年間、当支部のOB

会長としてJAM愛媛地協シニアクラブ幹事会や総会、愛媛退職者の総会等に出席、学習会にも参加してきました。そのような場所で元氣な先輩諸氏の話をお聞きしたり、隣席の方とお話をしているうちに、こんな私でも高齢者についての選挙の大事さが徐々に分かってきました。私達高齢者は年金だけでは今後の生活がどうなっていくのか。医療の関係や物価の値上がりに対して、どこにどう頼っていけば良いのか等々。

これらの諸問題はやはり政治活動を通じて政治を変えていかなければ解決できません。来る今夏の参議院議員選挙には、現役組合がJAM組織内候補者として応援している、「郡山りよう」必勝のため、私達高齢者も共に参加して活動に取り組んでいく必要があります。

後期高齢者になり「初めての用事」を一つでも多く達成すべく、私一人では何もできませんので、困った時には仲間と相談して助けってもらいながら、一步一步前に向かって進んでいきます。

〈表面より続く〉
1000万署名の取組み等について議論をし、概ね提案どおり承認されました。

三條市立大学を見学



5月20日、第2回幹事会に先立ち、新潟県三条市の「三条市立大学」を幹事会メンバーで見学しました。
本見学会は、JAM新潟の片原書記長の多大なるご尽力によって実現しました。
三条市立大学は2021年に開校した新しい大学で、創造性豊かなテクノロジー、トの養成をするために、工学と技術のマネジメントを融合したスタイルの工学部を目指しています。日本有数の金属加工技術の集積地である燕三条地区の地域資源を最大限に生かし、ものづくりの持続発展に貢献していくことを目的として設立されました。
当日は事務局長の今井智之さんから学校の概略につ

いて説明を受けたあと、2班に分かれて学内を見学しました。広々とした校舎内には、学習内容に沿って様々なスペースが設けられ、一人一人の学生を大切にすることを重視した教育環境に一同感銘を受けました。また、学生たちが最新の設備で実践的な研修に真剣に取り組んでいる姿に、モノづくり日本の将来に希望を見出すことが出来ました。

大阪 「灘五郷の酒蔵見学」 原正巳 事務局次長

これまで、会員の交流行事のものづくり見学として、2023年にアサヒビール吹田工場見学、24年に理美容椅子トップのタカラベルモント大阪工場見学を行ってきました。今回は、2025年5月25日、兵庫県神戸市東灘区の「灘五郷」の「白鶴」と「菊正宗」の酒蔵の見学を行い、清水代表幹事他17名が参加しました。



いずれの見学先も、海外の観光客が次々と観光バスで訪れて混雑していました。「白鶴酒造資料館」では、工程ごとにビデオ解説付きで、「菊正宗酒造記念館」では、伝統的な酒造りを詳しく学びました。洗場、釜場、麹室、甑場、造蔵、槽場、囲場の順で見学しました。

江戸時代、灘を筆頭に伊丹や伏見の清酒は「下り酒」と呼ばれ、江戸でたいそう重宝されたそうです。そのことにちなむ「くだらない」の語源も紹介していただき、参加者一同、大いに、ためになる「くだらない」お話を聞けたと感心。

見学の後、大阪に戻り、阪神梅田駅近くのビアホールにて、交流会から参加の2名も加わり、会員19名が生ビール飲み放題で交流を深めました。

群馬 上毛新聞印刷センターを見学 鈴木英二 事務局長

JAM群馬シニアクラブは、5月21日交流行事として、伊勢崎市の地元の新聞である上毛新聞の印刷センターの工場を見学しました。参加者は14名。見学前段で新聞講座が行われ、同センターの浜名大輔印刷局次長から「新聞の読み方」や「新聞のできるまでの流れ」の説明を受けました。浜名



氏は「身の回りの出来事すべてがニュース、読むだけではなく新聞づくりに参加を」と積極的な投稿の呼びかけを行っていました。

講座後、印刷現場を見学し、自動化された巻取搬出ロボットや1時間に18万部印刷できるコンピュータ制御の高速オフセット機などを見学、新聞の刷版工程から発送までの工程の説明を受けました。

見学後、中川文雄会長は「新聞づくりの苦労が理解できた。今回のような参加型の機会が増えればいいのでは」と語っていました。

京都 政策研修会を開催 伊藤忠男 通信員

今年度の政策研修会のテーマは「もっと知りたい高齢者福祉について」副題は「今知っておくべき認知症などの最新知見」。

5月13日午後京都働者総

合会館の会議室で46名の参加を得て開催しました。

講師の柴谷匡哉氏は特養などを経営する社会福祉法人の副理事長で特養の現場で得た経験をもとに著した「施設長大変です。すぐ来てください（認知症介護現場の事件簿）」という本の著者でもあります。

介護現場で日々向き合う体験・知見をもとに認知症とは何か、介護施設や介護現場の実際を90分にわたってわかりやすく解説してい



いただきました。

「軽い認知症状を心配し受診させたいが本人が認めない場合どうしたら」「独り言を言っているだけか幻覚を見て話しているのかの見分け方」等々受講者の質問にも豊富な現場経験をもとにわかりやすく解説していただき、自分がそうなた時を含め、配偶者や兄弟姉妹など身近な場面で起こ

りうる事態に必要な知見を学ぶ有益な2時間でありました。

千葉 パークゴルフ交流会を開催 姥名秀信 通信員

千葉シニアクラブは第9回パークゴルフ交流会を4月9日佐倉グリーンパーク（36ホール、パー132）

8人の参加者で行いました。天気は、快晴、いい形の雲が印象的でした。

アルバトロス、ホールインワンの記録ができました。参加者全員嬉しさをあじわいました。

田中事務局長が近所のコンビニで調達した、弁当のおいしかったのは、好記録のせいだと感じました。

長岡功会長のパークゴルフ交流会の参加者をもっと、増やす、「郡山りよう」参議院選挙の必勝をめざそうとの、締め挨拶で終わりました。楽しい、いい1日でした。

